

2024年6月7日 第3472回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 藤村 会長
 <斉唱> 「君が代」「奉仕の理想」
 <唱和> 「四つのテスト」
 <ゲスト紹介> *青少年交換留学生 Chia-Yuan WEN (Sam) 君
 青少年交換留学生派遣候補者 高石 愛香 さん
 米山奨学生 金 翰 旻 様
 (株)ジェイコム湘南・神奈川横須賀局 局長 吉田 久美子 様

- <ビジター紹介> *柏南ロータリークラブ 会長エレクト 竹村 隆一郎 様
 <誕生月祝> *勝間 佳枝 (S. 8.6. 1) *植田 威 (S. 34.6. 1)
 *山田 晴史 (S. 36.6. 1) *梶木 洋平 (S. 54.6. 4)
 *小澤 長幸 (S. 44.6. 10) *柴田 朋彦 (S. 46.6. 12)
 *加藤 淳 (S. 37.6. 18) *齋藤 眞且 (S. 28.6. 19)
 *笠木 英文 (S. 22.6. 23) 各会員

- <入会月祝> ・江沢 暁彦 ・五十嵐 俊男 ・勝見 慎一 ・山下 和男
 ・鈴木 孝博 ・八木 達也 ・久保田 英朗 ・渡邊 磨
 ・前川 静子 ・鹿島 勇 ・木村 一郎 ・松本 明弘
 ・加賀本 好美 ・来生 亮 ・加藤 淳 ・大野 健男
 ・岡田 圭太 ・山田 哲也 ・永井 信年 ・渡辺 努
 ・小澤 長幸 ・柴田 朋彦 ・寺田 義則 ・沼田 裕一
 ・仁平 純一 ・荻山 寛樹 各会員

- <会長報告> *国際ロータリー日本事務局から
 ・ロータリーレート 6月1日から1ドル157円(5月と同様)

- <バナー交換> *柏南ロータリークラブ 会長エレクト 竹村 隆一郎 様

- <委員長報告> *雑誌委員会 笠木委員からロータリーの友6月号

*出席委員会 曾我委員長から5月分出席報告 平均出席率 71.69%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
5月10日	115名	106名	71名(3名)	35名	6名	71.96%
17日	115名	103名	66名(名)	37名	8名	71.15%
24日	115名	105名	68名(1名)	37名	7名	70.75%
31日	116名	106名	70名(1名)	36名	8名	72.90%

- <出席報告> *出席委員会 曾我委員長から6月7日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
116名	107名	69名(2名)	38名	4名	68.22%

メイクアップ: 小沢会員、小佐野両会員 世界大会 出席、兼城会員 地区委員会 出席
 渡邊会員 被選理事役員会 出席

- <米山奨学生へ奨学金授与> *金 翰 旻 様

- <幹事報告> *最終例会会費の徴収について

*会員事業所変更のお知らせ

*2025年度夏出発青少年交換留学生募集説明会について

- <ニコニコ報告>

・竹村 隆一郎 様 (柏南RC) 柏南RCからメーキャップさせていただきました。本日はよろしくお願ひいたします。

- ・三 役 青少年交換留学生 Chia-Yuan WEN (Sam) 君、青少年交換留学生候補者 高石愛香さん
本日の卓話楽しみにしています。
- ・木 村、児 玉、八 巻、椿、大 石、竹 株、長 島、大野 隼、澤 田、
田 中、福 西、梁 井、瀬 戸、高 橋、石 田、梶 木、権 田、松本 剛、
岩 崎、杉 浦、植 田、江 口、長 尾、齋藤 眞、谷、野 坂、田 邊、
鈴木 剛、松本 剛、山 下、小林 (-)、前 田、物 井、小保内 各会員
青少年交換留学生 Chia-Yuan WEN 君/青少年交換留学生派遣候補者 高石愛香さん
これまでの青少年交換留学の思い出も、これからの青少年交換留学への期待も、どちら
の話も大変楽しみです。どうぞよろしく願いいたします。
- ・三 役 米山奨学生 金翰晃さん、ようこそ横須賀RCへ。楽しんでください。
- ・八 巻、澤 田、高 橋、齋藤 眞、笠 木、野 坂 各会員
米山奨学生 金翰晃様、ようこそいらっしゃいました。例会をお楽しみください。
- ・三 役 柏南RC 会長エレクト竹村隆一郎様ようこそお越しくださいました。宜しく願い致
します。
- ・澤 田、高 橋、福 西、鈴木 剛、齋藤 眞、八 巻、萩 原、徳 永、曾 我 各会員
柏南ロータリークラブ 会長エレクト 竹村隆一郎様ようこそ横須賀ロータリークラブ
へいらっしゃいました。例会をお楽しみください。
- ・植 田、山田 剛、梶 木、加藤 剛、齋藤 眞、笠 木 各会員 誕生月祝いとして
- ・山田 剛 各会員 誕生月祝いとして (5月)
- ・五十嵐、山 下、鈴木 剛、八 木、木 村、松本 剛、
加藤 剛、大野 隼、山田 剛、渡 辺、仁 平 各会員 入会月祝いとして
- ・3番テーブル岡田 剛 マスター、松岡サブマスター 昨日6月6日午後6時3番テーブルミーティングを
開催し、今年度最後のテーブルミーティングでした。16名の皆様にご参加いただき美
味しい料理とお酒をいただきました。机幅の調整や料理量の調整など、竹株会員のご配
慮に心からお礼申し上げます。平松会員の旭日小綬章授賞のお祝いもできましたが、御
礼としてGODIVAのお菓子を頂戴いたしました。皆さまで楽しいひと時を共有できまし
た。ありがとうございました。
- ・小佐野、白 井、南、比 護、飯 塚、根 岸、物 井、角 井、小山 剛 各会員
昨日令和6年6月6日午後6時よりメルキュールホテル20階エトワールで岡田英城テ
ーブルマスター、松岡サブマスターによる3番テーブルミーティングが開催されました。
「6」にちなんでアレンジした美味しい料理とお酒、会場設営にまで気を配って頂いた
竹株会員に感謝致します。またお忙しい中、お越し頂いた藤村会長、角井SAA、小山美
智恵副SAA、三宅さん、ありがとうございました。
岡田テーブルマスターからの差し入れのワイン、松岡サブマスターからのノルウェーの
お土産、また平松会員の旭日小綬章のお祝いもあり、楽しいテーブルミーティングあり
がとうございました。
- ・高 橋、石 田、齋藤 剛、上 林 各会員 現在バレーボールネーションズリーグ男子予選ラウンドが
開催中です。5日ドイツ戦ではフルセットの大接戦の上ドイツを撃破！対戦成績を5勝
1敗としました。本日7日は世界ランキング1位のポーランドとの対戦です。
ガンバレニッポン！

<卓 話>

「1年間の活動報告」

青少年交換留学生 Chia-Yuan WEN (Sam) 君

皆さん、こんにちは。第2780地区第1グループ横須賀ロータリークラブさんにスポンサーをいただいている、台湾から来たSamです。

今日は、私の日本での1年間の活動報告をします。

まず、学校生活ですが、大変楽しく過ごしました。学校で好きな活動を二つ紹介します。それは文化祭と体育祭です。学校で初めて活動したのは、文化祭でした。友達と写真をたくさん撮り、多くの屋台を回り楽しみました。屋台を見物するほかにも、いろいろな食べ物を食べて、とてもおいしかったです。

体育祭ですが、台湾と日本で一番の違いは、競技種目と練習時間だと思います。今回私は2種目に出場しました。袋ジャンプと二人三脚です。体育祭は面白かったのですが、写真が撮れなくて残念でした。大きな集合写真が2枚しかありません。

修学旅行は、日本で一番楽しかったことの一つです。多くの古跡を訪ねただけでなく、私が一番好きな場所に行きました。それはまさにUSJです。

まずは一日目のスケジュールについて話しましょう。私たちは京都で二条城と多くの名所を見学しましたが、一番印象深かったのは清水寺と伏見稲荷大社でした。清水寺と伏見稲荷大社を見学しましたが、全部を見学することができなかったことは残念でした。

大阪のUSJでは一人の友達を除いて、とても楽しかったです。彼にとって、とても怖いアトラクションがあったからです。一番好きなアトラクションはハリーポッターです。

この写真は寒川神社での交換留学生による日本語スピーチコンテストで、一番忘れたい写真です。どうしてそのようなことを言うかという、スピーチするときに緊張し過ぎて言葉を忘れてしまいました。原稿を読まないスピーチは、これが最初で最後になると思います。

研修旅行では、交換留学生たちと再び京都へ行きました。行った所は修学旅行と似ていて、同じ所へも行きました。望み通りに清水寺と伏見稲荷大社を見学することができました。鎌倉と小田原も散策しました。

ロータリークラブで一番印象に残ったのは、行った観光地ではなく、ロータリークラブのイベントです。高德院や長谷寺などの古跡に行きましたが、カラオケにも行って歌を歌いました。カラオケに行くのは初めてでしたので、とても楽しかったです。

家族が日本へ来て旅行もしました。家族と一緒に旅行した時が一番疲れしました。私より10歳年下の三人の子どもの面倒をみて、大人たちの通訳もするので、とても疲れしました。一番後悔していることは、家族と鎌倉に行かなかったことです。今年の1月に交換留学生たちを初めて誘って行った所は鎌倉と江の島です。楽しく遊んだだけでなく、江の島中を歩き回りました。しかし、疲れていて家に帰るとすぐに寝てしまいました。

2回目は横浜観光に行きました、中華街ではガイドになって中華文化を紹介しました。

最後に短い動画をお見せします。大相撲の地方巡業を見に行った帰りにカラオケに行った時に撮ったものです。映っているのは留学生の中で最も面白い人です。何を歌っているのか、何のダンスをしているのか全員分かりませんでした。

以上です。ありがとうございました。



<卓 話> 「ブラジルに向けて」

青少年交換留学生候補者 高石愛香さん

Olá, eu sou Manaka Takaishi. O Rotary Club de Yokosuka patrocina uma viagem ao Brasil. Obrigado.

今即興で、挨拶と名前、横須賀ロータリークラブさんにスポンサーをしていただいてブラジルへ行きます。ありがとうございます。今、一生懸命勉強しているポルトガル語を披露させていただきます。

2024-25年度ブラジル派遣候補生になった高石愛香(たかいし・まなか)です。三浦学苑高等学校の2年生で、次年度会長になられる高橋理事長の下で勉強に励んでいます。出身は和歌山県ですが、父が自衛官のため(転勤が多く)福島、京都を経て神奈川に生まれました。趣味は水泳と柔道で、水泳は0歳から始め、和歌山県大会で6位までいきました。柔道は小学校4年生から2年ほどやって、市の大会では2位までいきましたが、水泳も柔道も芽が出なかったのをやめてしまいました。特技は、いろいろな人と話すことで、対面で話すことが大好きですので、ぜひ話しかけてください。

派遣候補生に選ばれてからの心境の変化ですが、「(留学生は)親善大使なのだ」という自覚と自信が芽生えました。この留学の使命の一つは、小さな親善大使としてブラジルへ行って日本の文化を伝え、ブラジルの文化を持って帰ることだと思います。

頻りに訪れマンネリ化していた清水寺も、留学生と行くと新しい発見があり、それをブラジルの人に伝えようという自覚が生まれました。そして、人前で話すことは緊張するのですが、喋れないということはなく、言葉にはできるという自信が付いてきました。

派遣が決まった時は「(o^_^)b よっしゃー!!」というような感じで、ずっとはしゃいでいたのですが、冷静になってみると、「ポルトガル語って何」という感じで、概念が全くつかめませんでした。英語は小さな頃から触れていたのですが、概念がつかめるのですが、ポルトガル語の概念が全く、今やっとポルトガル語で書いてあることがフリガナなしで、こんな感じかなと読めるようになりました。しかし、初めは読めないし、単語も分からないし、といった状態で「/(-_-)\うわあああああー」と落ち込むなど、毎日、意気揚々と意気消沈の繰り返しという、まさにジェットコースター状態でした。

それと、授業が楽しくなりました。学校の授業で古文を学んでいると、言葉の意味が全く分からず、なぜ今このような勉強が必要なのだろうかと思っていたのですが、昔の人には昔の人なりの習わしもあることが分かり、授業の必要性が理解できました。今日は「蜻蛉日記」の授業を受けてきたのですが、独占欲など表面に出さない時代と思っていたのですが、実は独占欲に満ちた和歌などが平然と詠まれていて、今までの認識とは違うということを知ることができました。いにしえ人の価値観が分かり、これをブラジルの人に伝えることができると思うと授業が楽しくなり、興味が湧いてきました。

インバウンドとROTEXとの交流を通して、視点が変わり、見えなかったことが見えてきました。伏見稲荷大社に行った時も、皆が質問してくるのです。ブラジルからの留学生が「なぜ鳥居が千本もあるのか」という質問を浴びせてくるので調べてみたら「鳥居はありがたいことがあるとそのお礼としい寄進する」ので、それが続いて千本にもなったということでした。軽くまとめてみるとこうなります。このように留学生が視点を変えてくれたことで、見ようとしていなかったことを見るようになり、日本が深くなりました。

日常生活においても留学生の視点を持つように努めて、いろいろなことに興味を持って調べています。

また、留学生に国のことを聞くと説得力を持って力強く語ってくれて、自国への愛がものすごく強いことを感じます。私も日本への愛をさらに強くして、何を聞かれても答えられるようになりたいと思います。

そして、留学生には「ありがとう」がたくさんあります。日本人は、よく「すみません」と言います。電車などで肩が当たっても「すみません」と言いますが、外国の人は「すみません」と言うことが少なく、「ありがとう」に言い換えています。例えば、待ち合わせに遅れても「すみません。遅れました」や「遅れ



てごめん」ではなく「待っていてくれて、ありがとう」なのです。それがすごくうれしくて「ありがとう」という言葉が大切だと思い、自分も使いたかったです。

結びとして、抱負と1年後の自分の姿についてお話しします。憧れである明確な目標を持っているカッコイイ女性になるために、たくさんの人と話して柔軟な考え方をもちたいと思います。インターアクトの台湾研修で女子校に行った時も、気遣いが日本とは全く違っていました。私がバッグを持って歩いていると、女性が女性に対して「バッグを持ちましょうか」と申し出ってくれるのです。すごくカッコイイと思いました。このように、いろいろな人に気を配れる人になりたいと思います。

日本だけでなく、世界に通用するコミュニケーション能力を付けたいと思います。周りの人は、私をコミュニケーション能力が高いと評価してくれますが、自分ではそうは思っていないで、もっとこうすればよかった、ああすればよかったと思うことが多々あります。話の盛り上がり方一つを取っても、留学生同士の盛り上がり方は素晴らしいものがあります。世界水準の話の盛り上がり方は日本とは違うと感じています。それもブラジルで学びたいと思います。そして、細かい気配りができ、明確な目標を持つカッコイイ人になりたいと思っています。

カッコよく変わった1年後の姿を皆さんに見せられるように、ブラジルに行ってきたと思います。ありがとうございました。



<閉会・点鐘> 13:30 藤村 会長

週報担当 大石 朗